



【令和5年度補正予算（案） 654百万円】

国立環境研究所の老朽化した防災用蓄電池設備及び有害排気浄化装置の緊急更新を行います。

1. 事業目的

我が国の環境科学の中核的研究機関である国立環境研究所について、老朽化した防災用蓄電池設備及び有害排気浄化装置の緊急更新をすることにより、災害及び有害物質を扱う作業における職員の安全を確保するとともに、研究活動の中断等を防ぎ、環境科学研究の一層の推進を図る。

2. 事業内容

国立環境研究所の災害時における電源の切替えや非常照明の電源として用いられる防災用蓄電池及び実験装置から排気される有害物質の浄化を行う装置について老朽化による故障が頻発、保守部品の供給も終了し修理等による維持管理が困難な状況にある。

災害時及び有害化学物質を扱う実験時における職員の安全を確保することはもとより、本設備の予期せぬ重故障による研究活動の中断等を防ぎ、環境科学研究の一層の推進を図るため、防災用蓄電池設備及び有害排気浄化装置の緊急更新を行う。

1. 防災用蓄電池設備更新整備
2. 有害排気浄化装置（スクラバー）安全確保更新整備

3. 事業スキーム

- 事業形態 施設整備費補助金
- 補助対象 国立環境研究所
- 実施期間 令和5年度

4. 整備イメージ及び故障の状態

有害排気浄化装置（スクラバー）



防災用蓄電池設備

